

主に業界紙の記事をピックアップして掲載しています。
ご興味のある記事がありましたら、詳しい内容をFAXにてお送りします。

平成25年10月の業界情報 (先月の動向)

(1) 住宅資材 増産相次ぐ — 駆け込み需要にらみ コニシやクラボウ



来年春の消費増税をにらんだ住宅の駆け込み需要に備え、住宅資材を増産する動きが出てきました。

コニシは建材用接着剤の年生産能力を15%増やします。クラボウも戸建向け発泡断熱材の2割増産を決めました。タキロンも内装材や雨どい、マンション用の床材を増産します。(2013年8月31日 日本経済新聞記事から抜粋)

(2) 住宅用木材が高値圏 — 柱・梁向けなど、15～25%高 駆け込み需要、需給締まる



住宅用木材の価格が軒並み高値で推移しています。木材住宅の柱や梁、下地などに使う製材品の取引価格は、1年前と比べ15～25%高くついています。

(2013年8月31日 日本経済新聞記事から抜粋)

(3) 高齢者の「トイレ」 介護者に通知



介護支援ロボット開発のabaは、排せつ検知システムを開発しました。トイレへの誘導やおむつ替えのタイミングが事前に予測できるようになります。

(2013年9月2日 日本経済新聞記事から抜粋)

(4) 南海トラフを初想定 — 防災の日 各地で訓練 「命を守る行動」意識



「防災の日」の9月1日、大震災に備えた防災訓練が各地で行われました。政府は死者が最悪32万人に上るとされる南海トラフ巨大地震を想定した初めての総合防災訓練を実施しました。

(2013年9月2日 日本経済新聞記事から抜粋)



主に業界紙の記事をピックアップして掲載しています。

ご興味のある記事がありましたら、詳しい内容をFAXにてお送りします。

(5) 竜巻注意情報、的中率低く 近畿の自治体 対応に苦慮 「詳細な場所わからず」 メール配信 限定的



気象庁の竜巻注意情報を巡り、近畿地方でも自治体が対応に苦慮しています。的中率が低いこともあって広く住民に注意喚起することには消極的です。

注意情報はおおむね都道府県単位で発表され、的中率は5～10%と低いことが背景にあります。(2013年9月4日 日本経済新聞記事から抜粋)

(6) 太陽光パネル用木製フローター 御堂筋の壁面木質化 大阪府



林野庁の補助金を使った森林整備加速化・林業再生事業「太陽光パネル用フローター・建築物壁面への木枠・木製架台等開発」に関する打ち合わせ会が開かれました。

内容は、水面でも使用可能な木製フローターを開発して太陽光発電を行うこと。都市部のビルの壁面等に太陽光パネルを設置するための木枠・木製架台を開発する、というものです。(2013年9月5日 東洋木材新聞から抜粋)

(6) 認知症薬、数年で開発 — エーザイや武田 治験効率高める



エーザイや武田薬品工業は、認知症の治療薬開発を効率化します。

遺伝子検査や画像診断機器で事前に発症しやすい遺伝子やたんぱく質を持つ人に絞り込んで臨床実験を進める手法を導入。

通常10年以上とされる新薬の開発期間を数年に短縮します。

現在は症状の進行を遅らせる治療薬が主ですが、発症自体を遅らせる予防的な薬の開発にもつながる可能性もあります。

(2013年9月6日 日本経済新聞記事から抜粋)

(7) 地震の揺れ被害への対策を — 関西大教授 河田 恵昭氏



大阪・梅田に最大2m津波が押し寄せ、大阪市全体の32%が浸水する — 大阪府は8月、マグニチュード9級の南海トラフ巨大地震が起きた場合の被害想定最終案を発表しました。

安治川、尻無川、木津川に高潮対策用の水門がありますが、1960年代にできたもので耐震性には弱くなっています。

大阪市内の津波が来るのは、地震が発生して2時間後なので、落ち着いて避難できれば人的被害はゼロにできるかもしれません。(2013年9月10日大商ニュースから抜粋)

主に業界紙の記事をピックアップして掲載しています。
ご興味のある記事がありましたら、詳しい内容をFAXにてお送りします。

(8) ゼネコン株 活況 — 大手4社売買高 バブル期超す 個人マネー、五輪特需にらむ



2020年夏季オリンピックの東京開催決定を受け、株式市場でゼネコン株の取引が急拡大しています。

大成建設や鹿島といった大手4社の株式売買高は、1980年代後半のバブル期を上回る水準まで膨らみました。(2013年9月11日 日本経済新聞記事から抜粋)

(9) 「五輪で1割超の増収」 — 大成建設、受注獲得へ人員増



2020年夏季五輪の東京開催が決まったのを受けて大成建設は、五輪関連施設の工事が本格化する2016年3月期を目途に「1割超の増収を目指す」方針を明らかにしました。

(2013年9月12日 日本経済新聞記事から抜粋)

(10) 近畿景況感プラスに — 7~9月

6年9か月ぶり 製造業がけん引 太陽光パネル好調 客単価が改善



関西企業の景況感の改善が一段と鮮明になってきました。

近畿財務局が発表した近畿の法人企業景気予測調査によると、7~9月期の全産業の景況判断指数は4~6月期に比べ2.9ポイント改善し2.0となりました。指数がプラス転換するのは、2006年10~12月期以来6年9か月ぶりです。

(2013年9月12日 日本経済新聞記事から抜粋)

(11) 敬老の日に防災グッズ — 燃えにくい寝具など



高齢者の火事での死亡を防ごうと消防庁が今のシーズンに防火・防災対策を訴えていることもあり、防災に役立つ商品を前面に出す小売りやメーカーが目立ちます。

天井との間を棒で渡して転倒を防ぐ器具。家具の下に取り付けて取り外しも簡単な器具。52センチ四方の大判のハンカチは、災害時に風呂敷や敷物にもなります。

単3電池で動く電動ひげそり。リュックサックや汗ふきシート。燃えにくい寝具。軽くて柔らかい1枚仕立ての毛布などです。

(2013年9月13日 日本経済新聞記事から抜粋)



主に業界紙の記事をピックアップして掲載しています。

ご興味のある記事がありましたら、詳しい内容をFAXにてお送りします。

(12) 商業施設 耐震化で減税 — 政府・与党方針 固定資産税を半減 投資減税 5000 億円規模



政府・与党は、耐震性が低い商業施設や病院、旅館を改修した場合に、2014 年度から固定資産税を半減する方針を固めました。企業に設備投資を促す投資減税は主な内容が出そろい、投資対策の総額は 5000 億円規模となる見込みです。

(2013 年 9 月 14 日 日本経済新聞記事から抜粋)

(13) 建設人材難 成長縛る — コスト増、対策急務に 復興・景気対策でひっ迫 1994 年以降で最高 資材 値上げの波 — 各社、五輪も強気材料 マンション価格上昇



建設業の人手不足が経済活動のコスト増を招く恐れが強まってきました。

厚生労働省によると、人が足りないと感じる建設会社の割合から過剰とみる割合を引いた数値は、調査を始めた 1994 年以降で最高となり、五輪需要をにらみ資材価格も上昇傾向にあります。

厚生労働省が全国の建設会社に実施している調査によると、8 月に人材が「不足」と答えた割合は、全体の 33% に上りました。「過剰」は 4% で、不足から引いた数値はプラス 29 と 1994 年以降で最高になりました。

(2013 年 9 月 18 日 日本経済新聞記事から抜粋)

(14) 介護ホーム価格差 — 施設・人員の手厚さ反映



介護付き有料老人ホームで暮らすための費用を月当たりで計算してみると、平均は 276,000 円です。もっとも高額な施設の 77 万円に対し、最も安いところは 8 万円です。

(2013 年 9 月 18 日 日本経済新聞記事から抜粋)

(15) マンション契約率 81% — 近畿 8 月 先高感背景に活況続く



不動産経済研究所が発表した 8 月の近畿のマンション市場動向調査によると、契約率は前年同月比 3.3% 増の 81.1% でした。7 割を 18 か月連続で超えました。

(2013 年 9 月 18 日 日本経済新聞記事から抜粋)

主に業界紙の記事をピックアップして掲載しています。
ご興味のある記事がありましたら、詳しい内容をFAXにてお送りします。

(16) デイサービス審査厳しく — 厚労省方針 安易な参入に歯止め



厚生労働省は自宅から日帰りを通い、入浴や食事などの介護を受けられるデイサービスへの参入審査を一部厳しくする方針を固めました。

「小規模型」を対象に都道府県による書類審査から、市町村が専門組織に諮って審査するように見直します。

小規模型は介護報酬単価が高いため新規参入が多いですが、サービスの質が不十分との指摘があります。(2013年9月18日 日本経済新聞記事から抜粋)

(17) ひのき丸太、1年半ぶり高値 — 8月卸値



ひのき丸太の取引価格が1年半ぶりの高値をつけました。全国森林組合連合会がまとめた8月の桧丸太の国内卸価格は前月比6%上がりました。

(2013年9月19日 日本経済新聞記事から抜粋)

(18) 軽失禁用パッド拡充 — 日本製紙クレシア 生産能力2倍



日本製紙クレシアは軽失禁用パッドの品ぞろえを拡充します。

尿漏れの症状は50代以上の中高年だけではなく、若くても妊娠・出産時に出ることがあります。20歳以上の女性の4割にあたる約1600万人も経験しています。

(2013年9月20日 日本経済新聞記事から抜粋)

(19) 地方圏、下げ幅縮小 — 2013年基準地価 上昇地点は5%どまり



大阪圏は住宅地が0.4%下がり5年連続の下落でしたが、4年続けて下落していた商業地は0.4%の上昇に転じました。

商業地は大阪府が1.1%の上昇と、都道府県で最大の伸びとなりました。上昇率の全国上位10位には大阪市を中心に府内の6地点が入っています。

(2013年9月20日 日本経済新聞記事から抜粋)



主に業界紙の記事をピックアップして掲載しています。

ご興味のある記事がありましたら、詳しい内容をFAXにてお送りします。

(20) 郊外に特養を整備 — 厚生労働省 都市の高齢化対策最終報告



厚生労働省は、東京など都市部の高齢化対策の検討会を開き、最終報告書をまとめました。75歳以上人口が急増し、介護や医療の受け皿が不足するのを受け、郊外にケアサービス付き賃貸住宅を整備する方針を確認。住宅入居者の介護費は、前に住んでいた自治体が負担します。全国の75歳以上人口は2025年に2100万人を超えます。

(2013年9月21日 日本経済新聞記事から抜粋)

(21) 住宅地上昇、北摂に波及



地価の上昇は大阪近郊の住宅地にも及んできました。兵庫の芦屋、西宮の2市は、住宅地の調査地点の約9割が上昇しました。尼崎でも0.5～0.9%上昇しました。茨城市は0.4%の上昇に転じました。能勢町の住宅地の下落率は、前年の2%から3%へ広がりました。(2013年9月21日 日本経済新聞記事から抜粋)

(22) LIXIL、脱・内需依存 — ドイツの住宅機器大手買収 空白の欧州に足場



LIXILグループは、住宅機器大手のドイツグローエを買収することで最終調整に入りました。少子高齢化が進む国内市場は大きな成長が見込みにくく、内需依存型からの転換を急ぎます。(2013年9月25日 日本経済新聞記事から抜粋)

(23) リフォーム客開拓 — ホームセンター 専門会社や金利負担



ホームセンター大手がリフォーム事業を強化します。施工を請け負う専門の子会社を設立したり、消費者のローン金利などを負担する販促策を始めます。

リフォーム売り場を店内の目立つ位置にしたり、住設メーカーとのプライベートブランドの開発なども進めます。(2013年9月25日 日本経済新聞記事から抜粋)

(24) 慣用表現の誤答目立つ — 文化庁調査 会話にも支障も



文化庁は、2012年度の国語に関する世論調査の結果を公表しました。

「噴飯もの」・・・おかしくてたまらない：正答率20%

「流れに掉さす」・・・傾向にのって、ある事柄の勢いを増すような行為：正答率23%

「役不足」・・・本人の力量に対して役目が軽すぎる：正答率42%

主に業界紙の記事をピックアップして掲載しています。

ご興味のある記事がありましたら、詳しい内容をFAXにてお送りします。

「気が置けない」・・・相手に対して気配りや遠慮をしなくてもよい：正答率43%

(2013年9月25日 日本経済新聞記事から抜粋)

(25) 介護保険2割負担に上げ — 厚労省案 夫婦年収360万円目途 高齢者5人に1人対象



厚生労働省は介護保険の自己負担の割合を巡り、今の一律1割を見直し、一定以上の所得がある人で2割に上げる案を提示しました。

夫婦の年金でみて年収359万以上か369万以上とする2案で、高齢者全体の約2割(5人に1人)を対象と見込みます。介護保険の自己負担が上がるのは、2000年度に制度をつくって以来初めてです。

(2013年9月26日 日本経済新聞記事から抜粋)

(26) 中古マンション、価格上昇 — 8月 3年ぶり首都圏全域で 金利の先高観など映す



中古マンションの販売価格が上昇しています。平均価格は約3年ぶりに首都圏で揃って上昇しました。景気の回復期待、金利の先高観を背景にマンション需要が拡大する中、新築よりも手ごろな価格が支持されています。新築マンションの価格が強含んでいることも背景にあります。

(2013年9月26日 日本経済新聞記事から抜粋)

(27) 止まらぬ温暖化 — 国連報告 人間活動が原因 今世紀末、気温4.8度・海面82センチ上昇



国連の気候変動に関する政府間パネルが6年ぶりに提示した報告書は、世界各国・地域に気候変動の危機を強く訴える内容となりました。

一部にくすぶる温暖化への懐疑的な見方をきっぱり否定。世界各地で相次いでいる干ばつや猛暑、豪雨、竜巻などは温暖化がもたらす異変だと警鐘を鳴らしました。

(2013年9月28日 日本経済新聞記事から抜粋)

